

ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

皆様お元気で新しい年を迎えられたことと思います。PHJ は創立 15 周年を迎え、保健医療教育支援や災害支援活動の質をさらに向上させてゆきます。どうぞご支援とご協力をお願いいたします。PHJ メールニュース 2012 年 1 月号を配信いたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 2012 年 1 月号目次

1. PHJ 本部のニュース
 - 1-1. ホープニュース 15 周年特集号発行
 - 1-2. 東日本大震災-寄附金の報告と復興支援
 - 1-3. チャリティーマラソン Part III
 - 1-4. 2012 年春スタディツアーの参加者募集中
 - 1-5. スタッフブログ

2. PHJ タイ事務所のニュース
 - 2-1. 乳がん・子宮頸がん検診推進
 - 2-2. HIV/AIDS 予防教育
 - 2-3. PHJ タイ事務所インターンの報告

3. PHJ インドネシア事務所のニュース
 - 3-1. 母子健康改善活動 ーバンタン州セララン県テイルタヤサ自治区
 - 3-2. 栄養改善活動 ーテイルタヤサ自治区
 - 3-3. 地域医療システム強化・きれいな水事業 ーテイルタヤサ自治区

4. PHJ カンボジア事務所のニュース
 - 4-1. 健康な村づくり事業 ーコンポントム州
 - 4-2. 助産師トレーニング事業 ープレイベン州

.....

1. PHJ 本部のニュース

1-1. ホープニュース 15 周年特集号発行

PHJ は 1997 年、米国 Project HOPE の日本支部として発足し、2006 年に Project HOPE との連携を保ちながら、日本の NPO ピープルズ・ホープ・ジャパンとして独立しました。創立 15 周年

を記念し、ホームページ 2012 年新春号を特集号として 1 月 12 日に発行いたしました。15 年の活動を写真で振り返り、これからの PHJ に期待する活動を座談会で語っていただきました。

1-2. 「東日本大震災」寄付金の報告と復興支援

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の被災者と被災地を支援するために、PHJ では 3 月 15 日に募金を開始しました。5 月 9 日には国税庁から指定寄付金制度での認定 NPO として認定を受けました。12 月 31 日までに多くの個人と団体に絶大なるご支援を頂き、緊急支援と復興支援を行ってきました。頂いた募金は合計 5,647 万円に、また医療機器・事務機器等の物品寄付も含め合計 16,592 万円に達しました。この報告をホームページに掲載いたしました。

PHJ の現在の復興支援は気仙沼を中心に行っています。気仙沼医師会のご協力をいただき現地医療機関の必要な機器の調査を行い、昨年 12 月に医療機器 (168 個)、什器 (282 点) などを被災し、要求のあった 20 の病院へ寄贈しました。

またダンヒル社からサッカー日本代表チームを待にみたてて描いたポスター 200 枚 (東日本大震災募金活動として売り上げを PHJ に寄付してくださいました)、ゼブラ社からのシャープペン・蛍光ペン等 800 本、PHJ の「アジアのおはなしカレンダー」400 部を気仙沼市に寄贈し、市の行政機関、教育機関、小中学校に配布しました。

気仙沼市立小原木中学校、気仙沼中学校、松岩小学校からも早速お礼状が届きました。小原木中学校からのメールには震災を乗り越えて学校を再開し、生徒がいろいろなイベントを企画している様子が分かるホームページも紹介して下さいました。 http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/

1-3. チャリティーマラソン Part III

PHJ の個人会員で 2010 年からマラソン募金をしてくださっている館石昌樹さんが昨年末に PHJ の事務所を訪ね 2011 年に出場した 12 回のマラソン大会の成果を寄付してくださいました。昨年はマラソンだけでなく昼休みに勤務先のグラウンドを走り合計 8565 km 走ったそうです。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

1-4. 2012 年春スタディツアーの参加者募集中

「タイとカンボジアの農村にすむ人々の健康と医療を考える旅」を 2012 年 3 月 11 日から 18 日まで実施します。農村やその周辺の医療機関への訪問、地元大学でのエイズ教育に参加など、個人旅行では経験できないその国のリアルな姿をみることができます。現地の人へのインタビューやプレゼンテーションなど、コミュニケーションを重視した参加型プログラムです。これまでの参加者は医療従事者、大学生、社会人などさまざまなジャンルの方です。

.....

2. PHJ タイ事務所のニュース

2-1. 乳がん・子宮頸がん検診推進

この事業は外務省の補助金を頂いて 3 年計画で実施しています。12 月 7 日に 2 年度のプログラムを実施するサンサイ郡で開所式を開催し、351 名が参加しました。注目度の高いことがわかります。サ

ンサイ郡病院、ドーイサケット郡病院で検診を実施し、合計 66 名が参加しました。

1 月 11 日 1 年目の活動報告をサラピー郡病院長、サンカンペーン郡長、柴田総領事に提出しました。

1 月 12 日の医療器材の供与式にも柴田総領事が出席して下さいました。1 月はヘルス・ボランティアたちの教育とサンサイ郡で検診キャンペーンを予定しています。

2-2. HIV/AIDS 予防教育

12 月には世界 AIDS デイの活動として、チェンマイ保健局の支援を得て小規模教育を実施しました。メージョ大学では 12 月 1 日 500 名の学生を対象にコンドームの使い方、HIV/AIDS に関する質疑応答やゲーム・展示を使ってピア教育を実施しました。パヤップ大学では同日学生リーダー 10 名を対象にピア教育を実施しました。12 月 7 日にはチェンマイ体育大学で学生 300 名を対象に予防教育を実施しました。

チェンマイ大学では予防教育推進グッズとしてキーチェーン 250 個、HIV/AIDS 予防のメッセージつき小袋 90 個を作って配布し、ラチャマンガラ工科大学ではメッセージ付きカレンダー 300 個、パヤップ大学ではステッカー 300 枚、キーチェーン 300 個を作成、配布しました。メージョ大学ではプロモーションビデオを作成するなど、それぞれアイデアに富んだプログラムを展開しました。チェンマイ体育大学ではタイ担当スタッフがブログで報告したとおり、HIV/AIDS 予防のメッセージを付けたコンドームボックスを大学内に設置しています。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52063567.html

2-3. PHJ タイ事務所インターンの報告

タイ事務所でもインターン、ボランティアの協力が重要になっています。ポビーさんの報告をご覧ください

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52059631.html

.....

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

PHJ インドネシアが活動しているジャワ島セラン県では 1 月初めから大雨に見舞われ、中旬にはジャカルタの空港からの高速道路が閉鎖され、活動にも支障が出ています。下記は 1 1 月、1 2 月の活動報告です。

3-1. 保健・母子健康改善活動 —テイルタヤサ自治区

11 月、12 月の保健教育のテーマは「新生児の危険サイン」「予防接種」でした。新生児の危険サインとして黄疸が発生した場合など具体的な例を挙げて説明しました。また予防接種の効果と目的についての教育も実施しました。11 月の参加者は 172 名の妊婦含め 355 人、12 月は妊婦 203 名を含む 403 名でした。

3-2. 栄養改善活動 —テイルタヤサ自治区

第 6 回目となるメニューコンテストを 12 月 28 日に実施しました。テーマは「各村が栄養菜園で栽培している野菜・果物を材料として使用する」としました。収穫時期の問題があるため、材料を外部から

購入するケースもありましたが、各村とも頑張っ、混戦でした。第 1 位は 57 ポイント同率で 2 村の決選投票となりました。6 位も 50 ポイントで 3 村の決選投票となりました。

9 月に実施した第 5 回メニューコンテストの成果を 11 月、12 月に「おやつ」のテーマで生かしました。市販されているおやつよりも、栄養価の高い・植物性と動物性のたんぱく質を含むホームメイドのおやつを推奨しています。

10 月に本格的に始動した「栄養菜園」活動が活発になり、雨が少ないにもかかわらず、11 月下旬にはハウレンソウ、空芯菜などの葉物収穫がはじまり、12 月には長豆、なすの収穫が可能になりました。収穫された野菜は栄養状態が良くない乳幼児を持つ家庭や貧血気味の妊婦に優先的に配布されます。この活動は地域での浸透が早く、村長が先頭になって活動したり、自宅の庭先や空き地に野菜を栽培する住民も出てきました。将来このような自主的な菜園活動に広がることを願っています。

3-3. 地域医療システム強化・きれいな水事業 –テイルタヤサ自治区

11 月中旬 PHJ 支援第 5 号となる診療所(ポスケステス)建設がトウンクラック村で開始しました。長年診療所建設を願っていた村ですが、土地が手に入らず、村人からの寄贈でやっと実現にこぎつけました。3 月中の完成・機材整備を目標としています。ここでは手堀での深井戸を完備します。土壌が固く苦勞しましたが水を確保できました。

プサル村のポスケステスの建物と井戸・ポンプの修繕が完了し、不足していた医療資材も整えました。

.....

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

昨年 10 月から 11 月にかけての大洪水もおさまり、復旧が始まっています。下記は 12 月の活動報告です。

4-1. 健康な村づくり事業 –コンポントム州

4 保健センターでスタッフ会議に PHJ のスタッフも参加しました。

妊産婦健診モニタリングは 2008 年より PHJ の支援で地元保健センターの母子保健担当が実施しています。12 月の各保健センターでの成績はほぼ 100 点満点でした。これで PHJ の支援は終了することになりました。

衛生モデル世帯のいる村で「水の煮沸」について衛生キャンペーンを実施、273 名が参加しました。

村での保健教育を予防接種のトピックで 7 回開催、合計 311 名(1 村あたり 68 名)が参加しました。

一方保健センター運営委員・保健ボランティア会議には洪水後の生活の整備のため出席率は 6 割でした。

搬送サービス準備として 12 月 13 日ガイドライン案と説明会を実施し、2 村で 10 名の搬送サービス委員会メンバーを選出しました。いよいよトウクトウク(オート三輪)を導入して、パイロット活動が始

まります。

4-2. 助産師トレーニング事業 ーブレイベン州

12月5日から30日助産師2名のトレーニングを終了しました。3月、6月、各2名の保健センター助産師を対象に実施する予定です。

■ イーココロ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2012年1月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。次号の参考にさせていただきます。メールニュースのバックナンバーはPHJ ホームページでご覧になれます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメールニュース配信不要とご連絡ください。

#####

発行者：

アジアの母と子を支える

ピープルズ・ホープ・ジャパン

国際保健医療支援団体 認定NPO法人第1号

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail : info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2012 ピープルズ・ホープ・ジャパン

#####